

大学・地域共創プラットフォーム香川 2024 年度中長期計画達成状況評価表

3部会合同連絡会

令和7年7月11日

取組内容	2024 年度計画	2024 年度実施内容	自己評価
<p>1 高大連携事業・進学促進事業(進学・教育部会)</p> <p>①高校生等を対象に大学等の教職員が出前講座を実施</p> <p>②小学生を対象に、大学等の教職員がそれぞれの専門分野を活かした体験講座「香川わくわく子ども大学」を提供</p> <p>③高校の「総合的な探究の時間」に大学等の教職員を派遣して指導・助言を実施</p> <p>④大学等が共同で高校に出向いて進学説明会を実施</p> <p>⑤高校教員を対象とする県内大学等合同の説明会・交流会の実施</p> <p>⑥県高等学校 PTA 連合会との連携による保護者対象の研修、会報誌を活用した広報の実施</p> <p>⑦共同の広報活動</p> <p>⑧外国人留学生対象に合同進学説明会を実施</p>	<p>①出前講座の情報発信と実施 80 件</p> <p>②香川わくわく子ども大学 13 講座</p> <p>③高校の「総合的な探究の時間」で大学等の教職員が指導・助言 1 校</p> <p>④合同進学説明会の実施 5 校</p> <p>⑤合同大学説明会・交流会の実施 1 回</p> <p>⑥高大連携キャリアデザイン研修開催1回、「高P 連だより」への記事掲載 2 回</p> <p>⑦</p> <p>1)オープンキャンパスの共同広告・日程等の公表 1 回</p> <p>2)ホームページの活用・年間 20 件以上掲載</p> <p>3)高校設置のパンフレットスタンドを活用・年 3 回資料補充</p> <p>4)デジタルキャンパスガイドの活用・周知用チラシ作成、配布及び県内外高校生への情報発信・1 回</p> <p>5)校長会等での周知、協力依頼・3 回</p> <p>⑧合同進学説明会 1 回</p>	<p>①実施件数:100 件</p> <p>出前講座の情報を各高校へ郵送・周知、アンケート調査を実施</p> <p>②開講数:14 講座</p> <p>参加者数:小学生 241 名(親子 225 組)</p> <p>開催校・開催日:高松大学(8/24)、徳島文理大学(7/20,7/27,8/3,8/10)、香川短期大学(8/20,8/21,9/28)</p> <p>③実施なし</p> <p>香川県教育研究会「探究部会」(6/28)に出席し取組を説明</p> <p>「探究部会」の発表会(3/16)に出席し「探究型学習支援プロジェクト」のチラシを配布・周知</p> <p>④実施校数:5 校</p> <p>実施校・実施日:琴平高校(5/11)、香川中央高校(6/13)、高松中央高校(6/28)、小豆島中央高校(7/19)、高松東高校(9/25)</p> <p>高校生が県内大学等への進学後のイメージがつかめるよう、県内大学等に進学し、県内企業に就職した卒業生がロールモデルとして合同進学説明会に参加。琴平高校では、PTA 総会に合わせて実施し、保護者も参加。高松東高校では、教職員を対象とした個別相談会も合わせて実施</p> <p>⑤実施校数:1 校</p> <p>高松東高校での県内大学等合同進学説明会と同時開催(9/25)。教員が 20 名参加し、特色や入試等の説明・質疑応答を実施。</p> <p>⑥高大連携キャリア研修</p> <p>合同進学説明会:1 回(11/9)参加者数:県内高校生・保護者・高校教員等会場約 80 名、オンライン約 30 名</p> <p>記事掲載:2 回「高P 連だより」に県内大学等の紹介記事を掲載(10月、2月)</p> <p>⑦共同の広報活動</p> <p>1)ホームページ掲載 1 回</p> <p>2)ホームページ更新 8 回</p> <p>3)随時補充 3 回以上</p> <p>4)デジタルキャンパスガイドの活用・周知用チラシ作成、配布及び県内外高校生への情報発信:1 回</p> <p>5)3 回</p> <p>⑧実施校:2 校</p> <p>穴吹ビジネスカレッジ日本語学校(7/26)、ヒューチャーデザイン日本語学校(7/29)</p>	<p>①分野別リストを作成し、高校等に配布したことも出前講座の活用につながった。アンケート結果では、満足度が「期待以上だった」30%、「期待通りだった」70%であった。アンケートの回収率が低い(23件、23%)ことが課題</p> <p>②産学官の連携内容が充実した。参加者数は、小学生 241 名(親子組数 225 組)であった。アンケート結果では、「とても満足できた」71.7%、「満足できた」27.4%であった。応募者(1,197 組)を少しでも多く受け入れるため、参加大学や定員数を増やすことが課題。</p> <p>③実施予定高校の担当者が交代したこともあり実施できなかった。次年度に向けてプロジェクトの趣旨を周知し活用を促すことが必要。</p> <p>④琴平高校が追加され、R5 より 1 校多い 5 校で開催できた。民間事業者に業務委託し、開催校の負担軽減や新たな開催校の獲得に向けた営業等を行ったものの、高校から、「既に大学説明会を行っており、新たに説明会を行う時間が取れない」との回答が多くあり、新たな開催校は獲得できなかった。</p> <p>⑤生徒対象合同進学説明会と同時開催のため短時間の説明となった。高校と調整して時間数を確保できるかが課題。</p> <p>⑥計画通り実施できた。進学説明会に対するアンケート結果は、「とても良かった」と「良かった」を合わせた評価が 85.9%であった。参加者数の減少が課題。</p> <p>⑦</p> <p>1)計画通り実施(5/14)。</p> <p>2)進学・教育部会関係は 8 回更新、プラットフォーム全体では 46 回更新。こまめに記事を掲載できなかったことが課題。</p> <p>3)各大学等で高校訪問時に随時補充。</p> <p>4)計画通り実施。HPについては、R6 の間で、概ね約 15,000 回の表示、約 10,000 人の来訪者であった。</p> <p>5)香川県高校長会、香川県教育研究会「探究部会」等、様々な機会にプラットフォームでの</p>

			<p>取組や県内大学等への理解を深める必要がある。</p> <p>⑧オープンキャンパスへの参加や入学に繋がった留学生もいるなど成果があった。</p> <p>【評価】 B</p>
<p>2 大学等連携強化事業(進学・教育部会)</p> <p>①県内大学生等に多様かつ柔軟な学修の機会を提供</p> <p>②教職員研修としてFD・SD活動の共同開催</p> <p>③各大学の外国人学生間の交流の機会を設ける</p> <p>④リスクマネジメントに関する研究会・協議会等の開催</p> <p>⑤長期的な高等教育の展望、教育の質の保証等について議論し、大学等の地域における教育改革や教育改善を図る</p> <p>⑥県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを習得できるよう教育体制の構築・普及を行う</p> <p>⑦県内大学等に関する進学状況の分析、高校生・保護者・高校教員等への意識調査を実施して高大接続対策に活用</p>	<p>①単位互換科目の共同開設 730 講座 受講者数 12 人</p> <p>②高等教育の中長期グランドデザイン、リスクマネジメント、数理・データサイエンス・AI教育等の研修実施 2 回 100 人</p> <p>③各大学等の外国人学生間の交流会 1 回 20 人参加</p> <p>④自然災害や人為災害等に対する大学等のリスクマネジメント体制を構築する取組 1 回</p> <p>⑤外部講師招聘による研修会 1 回</p> <p>⑥研修会 1 回、他県研修会の随時案内</p> <p>⑦進学状況・意識調査・分析 1 回</p>	<p>①単位互換科目を 603 講座開設、受講者数 5 人</p> <p>②「2040 年グランドデザインのその後～最新の政策動向とさらなる人口減少への対応～」(11/11) 参加者数 22 名</p> <p>危機管理シンポジウム(12/9)参加者 210 名(会場 74 名、オンライン 136 名)数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム(3/4)参加者 92 名(会場 47 名、オンライン 45 名)</p> <p>③香川短期大学の大学祭で交流会実施(10/20) 参加者数 8 名(中国、インドネシア、台湾、ベトナム、ネパール)</p> <p>④危機管理シンポジウム(12/9、香川大学主催、PF 香川共催) 参加者数 210 名(会場 74 名、オンライン 136 名)</p> <p>⑤外部講師招聘による研修会「地方大学の新たな選択肢～これからの魅力ある地方大学とは～」(9/22) 参加者数 27 名 研修会後に部会委員による情報交換や検討会を実施</p> <p>⑥数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム(3/4)参加者数 92 名(会場参加 47 名、オンライン参加 45 名) 数理 DSAI 授業コンテンツ制作委員会を設置して 3 回会議を開催してコンテンツを作成中</p> <p>⑦高大連携キャリアデザイン研修(保護者対象進学説明会)でのアンケート調査・分析を行った。参加者数が減少していることが課題。自県大学進学率向上に繋がるIRを検討したい。</p>	<p>①開講科目は増加したが、受講者数は減少しており、物理的制約が課題。学生への広報周知の方略も検討が必要。</p> <p>②計画通り実施できた。教育・研究機能の充実や地域貢献に資するようなテーマ設定を検討したい。</p> <p>③複数の学校から、複数名・多国籍な学生の参加があった。参加した留学生にとって、有意義な経験になったと思われた。</p> <p>④計画通り実施できた。香川大学で行われるイベントに構成大学等から積極的に参加するよう働きかけたい。</p> <p>⑤計画通り実施できた。大学進学時に県内高校生の約 8 割が県外流出しており、定員確保に苦勞している大学等が多い現状から、有益となるテーマを設定して検討を続けたい。</p> <p>⑥計画通り実施できた。この事業をさらに広め、充実させるよう努めたい。</p> <p>⑦高大連携キャリアデザイン研修の参加者数が減少していることが課題。自県大学進学率向上に繋がるIRを検討したい。</p> <p>【評価】 B</p>
<p>3 キャリア支援事業(就職・産業振興部会)</p> <p>①かがわーくフェア</p> <p>②業種別オンライン県内企業見学ツアー</p> <p>③うどん県の自治体で働こう大懇談会</p> <p>④外国人材活用セミナー&交流会</p> <p>⑤学生と県内企業との交流会</p>	<p>①かがわーくフェア開催:2回 参加者320人</p> <p>②オンラインでの企業説明会開催:3回 参加学生 100 人</p> <p>③懇談会の開催:1回 参加学生30人</p> <p>④セミナー&交流会参加企業数:25社</p> <p>⑤交流会開催:1回</p>	<p>①かがわーくフェア3回開催 延404人参加</p> <p>1)4月開催:(対面)115人・(オンライン)11人参加</p> <p>2)11月開催:(オンライン)139人参加</p> <p>3)3月開催:(対面)139人参加</p> <p>②オンラインでの企業説明会3回開催 延112人参加</p> <p>1)8月21日(水):39人</p> <p>2)8月30日(金):33人</p> <p>3)9月3日(火):40人</p> <p>③懇談会9月25日(水)開催 延44人参加</p> <p>④セミナー&交流会11月11日開催 学生15人・企業15社参加</p> <p>⑤交流会12月26日(木)開催 延20人参加</p>	<p>①1企業あたり延べ参加者数が非常に低調であることが課題である。</p> <p>②学生参加人数は、昨年の86人から112人へと増加した。学生アンケートによる評価は、「満足」と「やや満足」の合計が約95%となっており、「短い時間でいろいろな企業について知ることができてよかった」等の感想があった。課題として、さらに多くの学生参加実現のために、実施時期や方法、企業・業界選定、告知方法の検討等が挙げられる。</p> <p>③学生参加人数は、昨年の19人から44人へと増加した。学生アンケートによる評価は、「満足」と「やや満足」の合計が100%となってお</p>

			<p>り、「知らなかった自治体のことを知るきっかけになった」「多くの自治体の話を一度に聞けて尚且つ比べることができた」等の感想があった。課題として、香川大学のみならず、県内他大学等からの学生参加実現のために、実施時期や告知方法等の件等々が挙げられる。</p> <p>④留学生の参加者数が非常に低調。また、本事業参加企業の側は、まだまだ具体的な外国人採用計画、イメージが整っている状況にはない企業が多数であった。</p> <p>⑤アンケート結果から学生のキャリア意識醸成に資する取組みであった。</p> <p style="text-align: right;">【評価】 A</p>
<p>4 地域企業魅力発信強化事業(就職・産業振興部会)</p> <p>①学生による企業インタビューシップの実施 ②高校・大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信 ③地元中小企業魅力発見ツアー</p>	<p>①インタビューシップの実施:高校5校・大学1校 ②高校・大学祭等のイベントにブース出展:2回 ③地元中小企業見学ツアー実施:2回</p>	<p>①インタビューシップを高校で5校(参加者延279人)、大学で1校(参加者延9名)実施。 ②高校、大学等のイベントに3回ブースを出展 1)8~10月:香川短期大学 37名参加 2)9月6日:飯山高校 112名参加 3)11月2~3日:高松大学・高松短期大学 177名参加 ③地元中小企業見学ツアーを2回実施 1)12月2日(月)延9人参加 2)3月24日(月)延17人参加</p>	<p>①学生の評価は高く、「地元こんな企業があることを認識できて大いに参考となった」、「中小企業の魅力が理解できた」、「働く意味も考えられるようになった」などの声が聞かれた。 ②香川短期大学との取組みについては、37名と対象者が少なかった。 レシピ開発後、地域のイベントや給食提供をする計画があったが、レシピ開発のみの取り組みとなった。 ③参加者からは、経営者や社員から仕事の内容ややりがいなど生の声を聞くことができ、また、社内の雰囲気や体験、ものづくりの現場を実際見ることで、県内企業の魅力を感じてもらい、将来のことを考えるきっかけとなった。また、ランチミーティングでは、普段接することのない若手経営者との懇談を通じて、学生自ら視野や考え方を広げることに繋がった。</p> <p style="text-align: right;">【評価】 A</p>
<p>5 地域活性化実践事業(地域活性化部会)</p> <p>①学生等による観光等地域資源の情報発信 ②産学官関係者の連携強化に向けた交流促進 ③学生との連携を図る活動情報の集約・発信の仕組みづくり</p>	<p>①講習会:1回 情報発信:4回 ②交流会開催:2回 ③情報発信:2回</p>	<p>①「効果的な情報発信のための SNS 講習会」の開催(参加者約 40 名) 大学生・地域おこし協力隊と連携した情報発信:4回 ②産学官連携交流会「なんがでっきょんな香川」 11/22 テーマ:社員の成長(大学等における社会人教育) 参加者:46 名 3/18 テーマ:就職と採用のギャップ 参加者:84 名 ③学生との連携を図る活動情報を集約し、大学生に周知する仕組みの構築</p>	<p>①講習会で学んだ内容を活用し、大学生及び地域おこし協力隊と連携した情報発信を4回行った。また、過去の参加学生が本取組みを通じて、県内就職を志望するようになった成果を踏まえ、学生が地域へ足を運ぶ回数を増やしたことにより、学生の地域理解が深まった。 ②県内の産学官関係者に、設定テーマに関する</p>

		<p>以下6件の情報を集約・発信し、合計で約30名の学生が参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さぬき市「遊休農地を活用したまちおこしプロジェクト」 ・多度津町「たどつ桜たんページェント」 ・土庄町「瀬戸内海タートル・フルマラソン全国大会」 ・県教育委員会「県立高校の未来を語る会」 ・地域活性化部会「産学官連携交流会（3/18）」 ・県子ども政策課「香川県子ども・子育て支援会議」 	<p>産学官連携の可能性を提示するとともに、参加者間による交流が図られた。</p> <p>③今までは大学との連携ができていなかったものや、特定の関係者間での連携に留まっていたものが、本取組みを通し、複数の大学から学生が参加するなど、より広範囲な連携を創出できた。</p> <p>計画通り取組みを実行し、学生等の地域理解や産学官連携及び地域づくりの促進を図ることができた。</p> <p style="text-align: right;">【評価】 A</p>
--	--	---	--

【評価】

- S: 当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。
- A: 当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。
- B: 当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。
- C: 当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。
- D: 当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。

令和6年度総合評価
A

数値目標の達成状況① 自県大学進学者の割合 21.0%	数値目標の達成状況② 県内大学卒業生の県内就職率 52.0%
自県大学進学者の割合 17.7%(令和6年4月入学)	県内大学卒業生の県内就職率 41.0%(令和7年3月卒業)